


管内經濟情勢報告








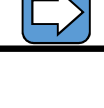

令和 4 年 4 月
財務省 四国財務局

四国財務局管内経済情勢報告

	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある（5期ぶり上方修正）	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている（2期ぶり下方修正）		個人消費は、スーパーが堅調であるものの、コンビニエンスストアが持ち直しに向けたテンポが緩やかになっており、観光等が弱い動きとなっていることから、全体としては、感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、輸送機械で弱含んでおり、電気機械、汎用・生産用機械で持ち直しのテンポが緩やかになっていることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。

〔先行き〕

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	
生産活動	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
雇用情勢	感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
設備投資	3年度は前年度を上回る見込み	3年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	

※ 4年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

(2期ぶり下方修正)

- スーパーは、衣料品等が弱い動きとなっているものの、飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、冷凍食品やデザート等に動きがみられるものの、ソフトドリンク等に弱さがみられることから、全体としては持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

〔主なヒアリング結果〕

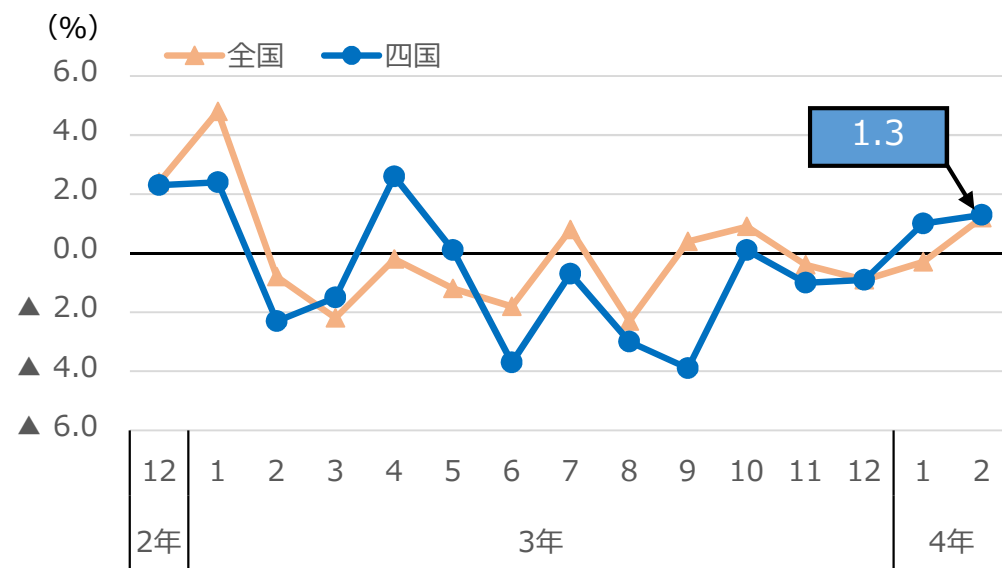
「スーパー」

- 飲食料品は調理の手間がかからない総菜や冷凍食品の動きがよい。顧客の購買意欲が下がらないように、定期的に商品のリニューアルなどを行っている。

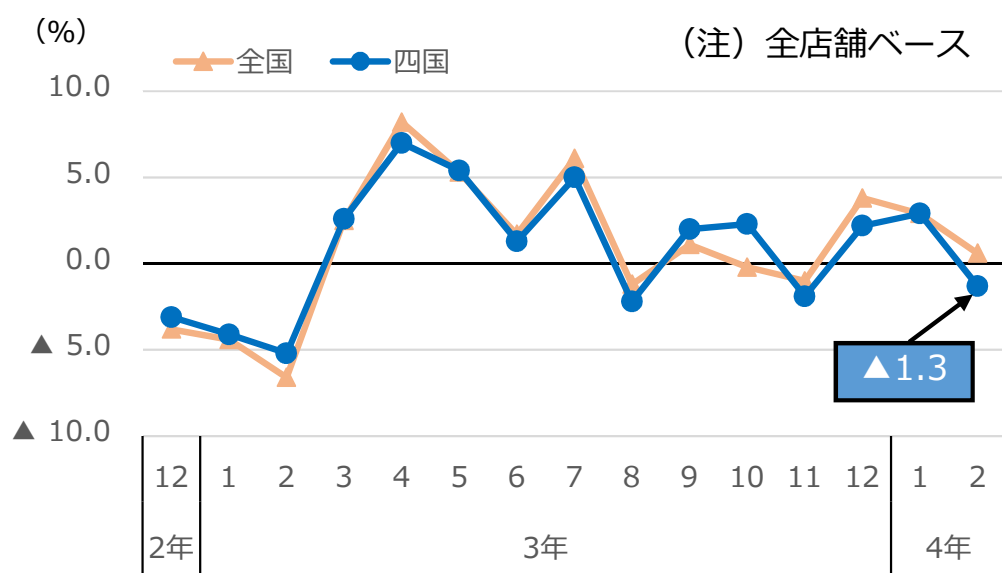
「コンビニエンスストア」

- 感染者数の増加による来店客数の減少や気温の低い日が多かったことから、ペットボトル飲料等の動きが悪かった。

〔スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、飲食料品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、エアコン等に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。
- ホームセンターは、園芸用品等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「ドラッグストア」

- 家で食事をすることが定着しており、取り扱いを強化している飲食料品の動きはよい。また、感染拡大により、マスクやうがい薬にも動きがみられる。

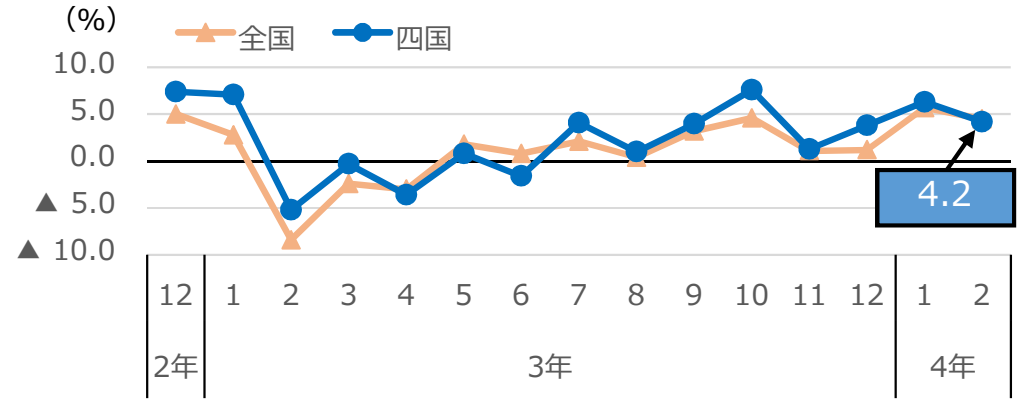
「家電大型専門店」

- 気温の低い日が多かったことから、エアコンの動きがよかった。

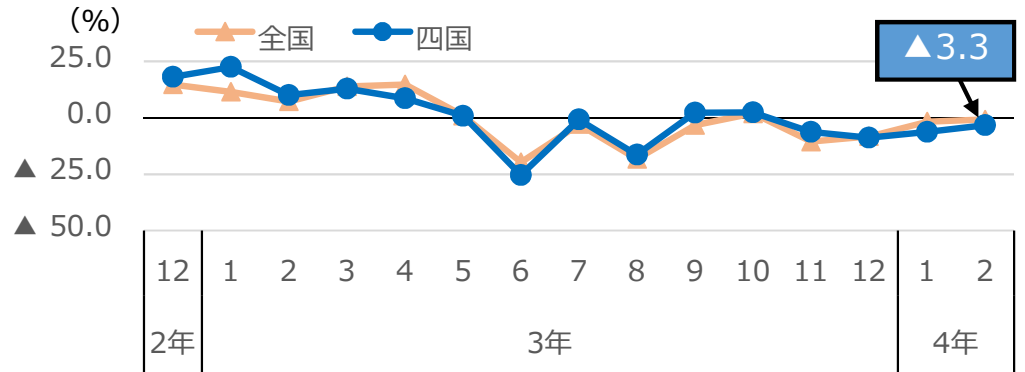
「ホームセンター」

- 感染症の流行をきっかけに始めた家庭菜園やガーデニングが定着し、引き続き園芸用品の需要が高い。

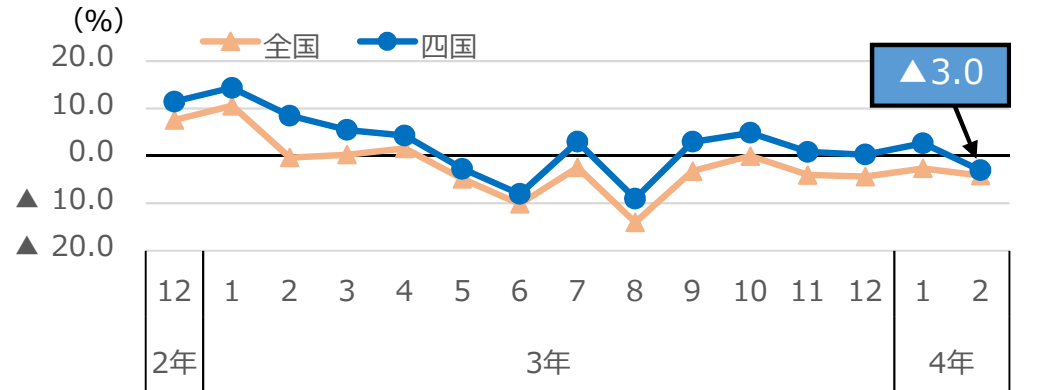
〔ドラッグストア販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔家電大型専門店販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔ホームセンター販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



【出所】経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- 百貨店は、高額品に動きがみられるものの、衣料品が低調であることから、全体としては弱含んでいる。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を下回っている。
- 観光は、感染拡大の影響から、弱い動きとなっている。
- 旅行は、国内旅行は弱い動きとなっており、海外旅行は不調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「百貨店」

- 感染者数の増加から来店客数が大きく減少したため、衣料品の動きが悪かった。

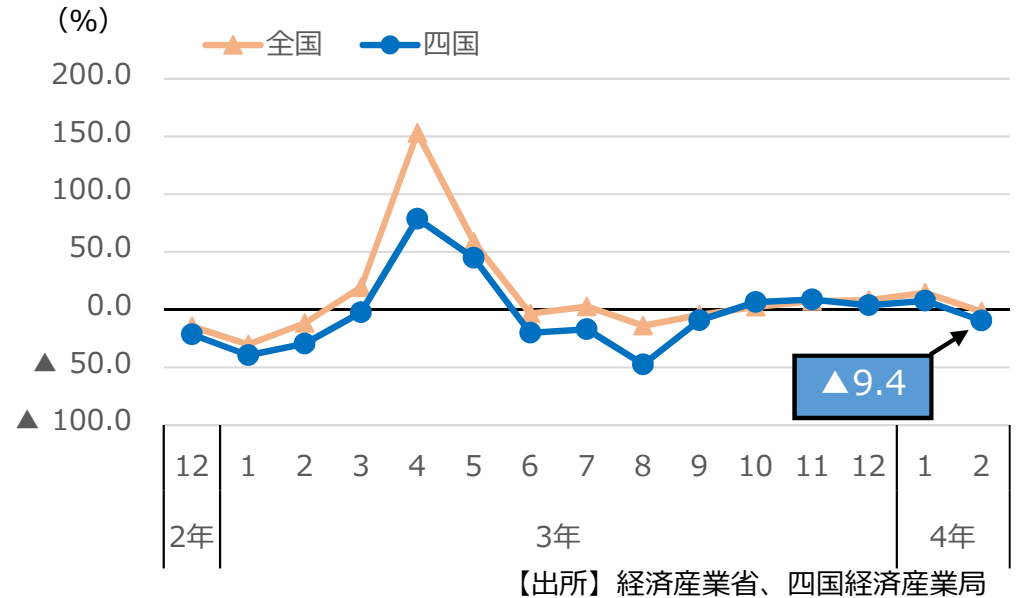
「観光」

- 感染拡大の影響で、観光客数は減少した状況が続いていた。一方で、まん延防止等重点措置の解除後は、県外客も多くみられ、観光客数は回復傾向にある。

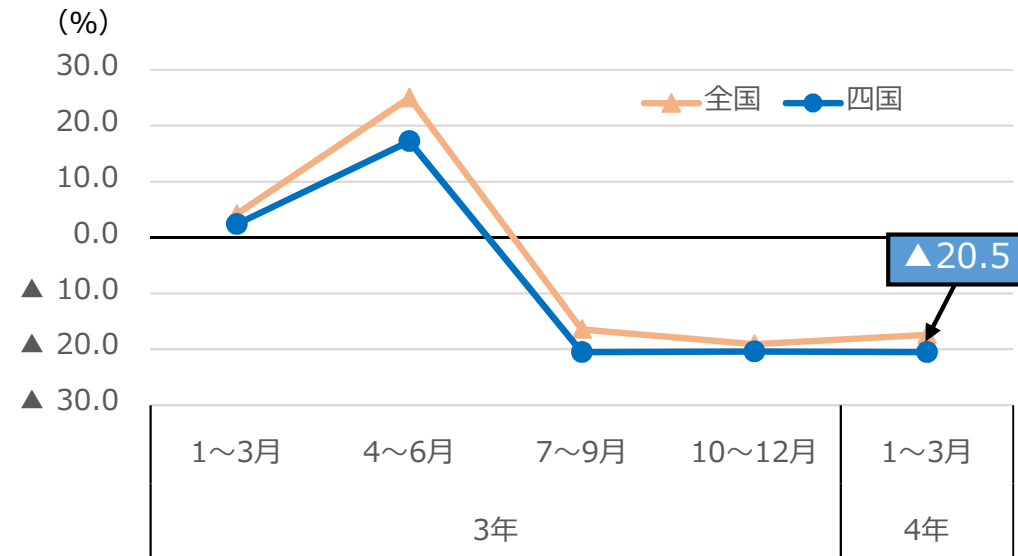
「旅行」

- 全国的な感染拡大の影響で、低調な状況が続いていた。一方で、県民割の再開などから、3月下旬以降は問い合わせ数が増加している。

〔百貨店販売額（前年同月比）〕 （注）全店舗ベース



〔乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）〕



生産活動

生産活動

持ち直しのテンポが緩やかになっている

(据え置き)

○輸送機械は、原材料価格の上昇の影響がみられることなどから、弱含んでいる。電気機械は、自動車向けに弱い動きがみられることから、持ち直しのテンポが緩やかになっている。汎用・生産用機械は、一部に供給面での制約による減産がみられることから、持ち直しのテンポが緩やかになっている。こうしたことから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。

〔主なヒアリング結果〕

◀輸送機械▶

○鋼材等の価格の上昇による船価の上昇が要因となって、船主が新規造船の契約を見送る動きがみられる。

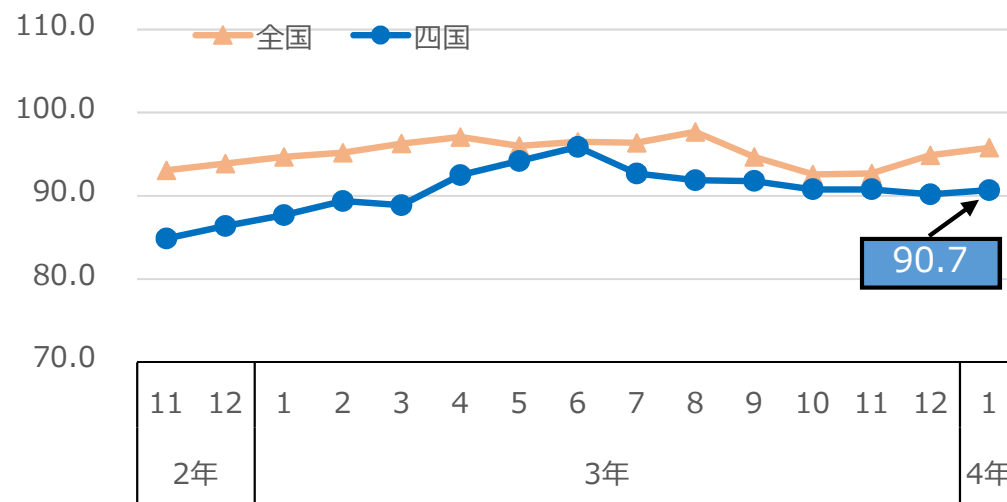
◀電気機械▶

○自動車減産の影響で、生産量が減少している。

◀汎用・生産用機械▶

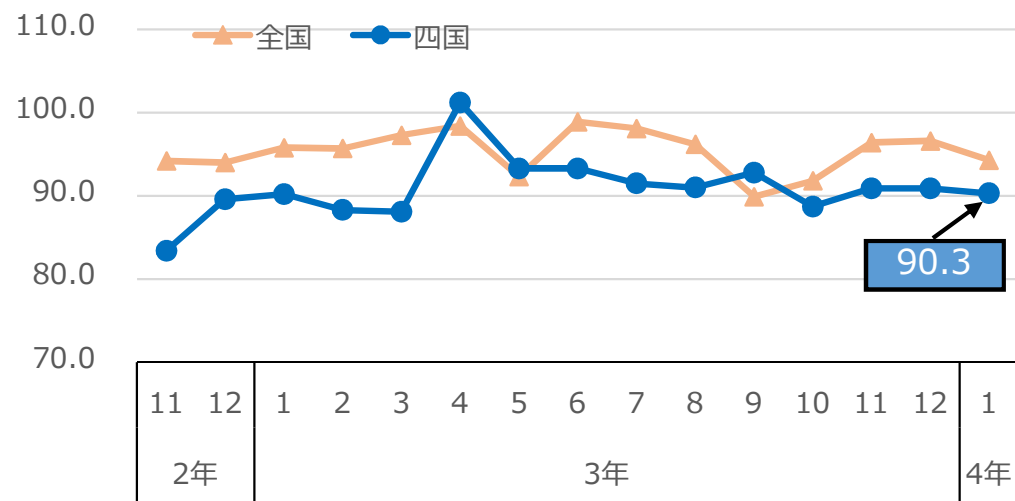
○部品の供給不足の影響により、生産量が減少している。

〔鋳工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



(平成27年=100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局の公表データから算出

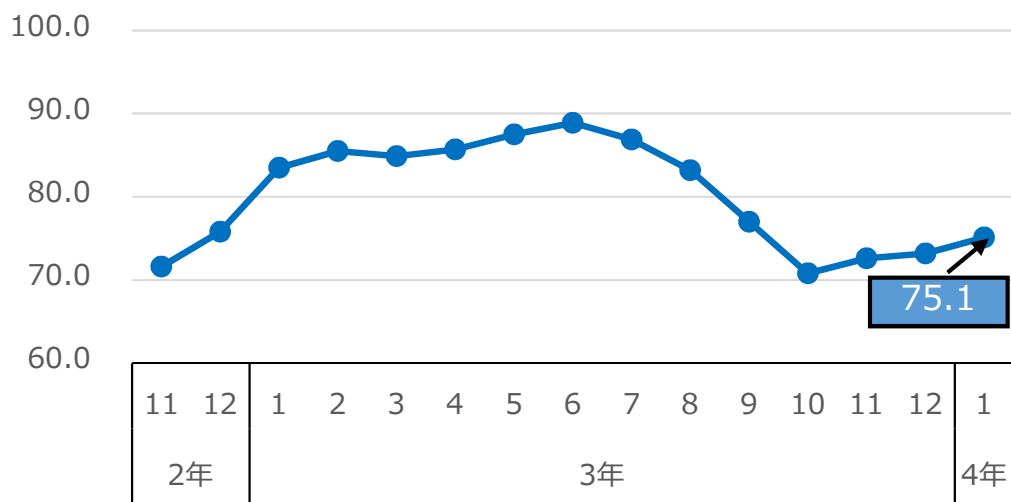
〔鋳工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕



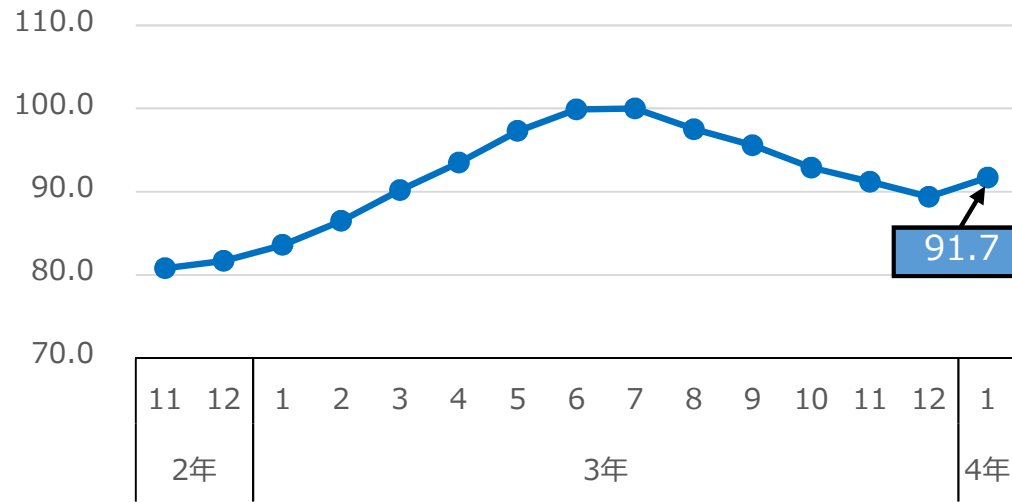
(平成27年=100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局

生産活動

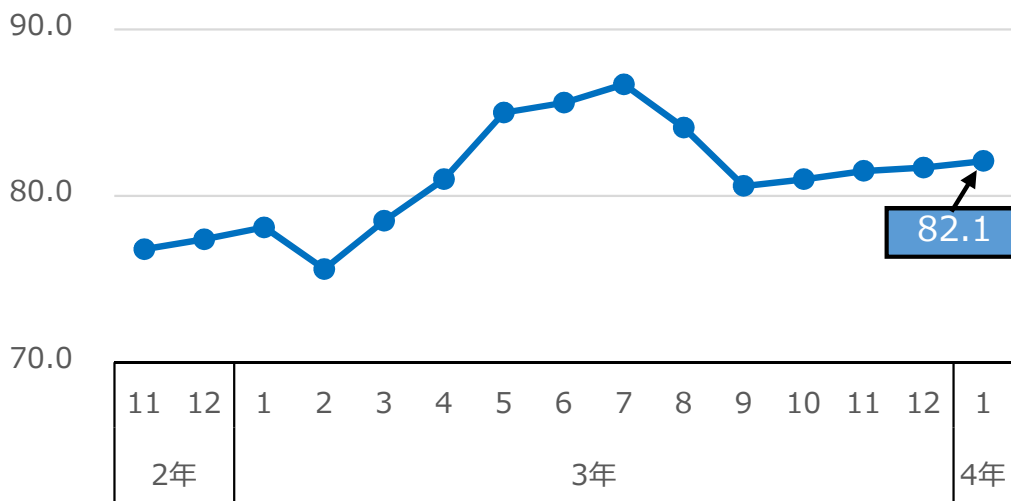
〔輸送機械〕



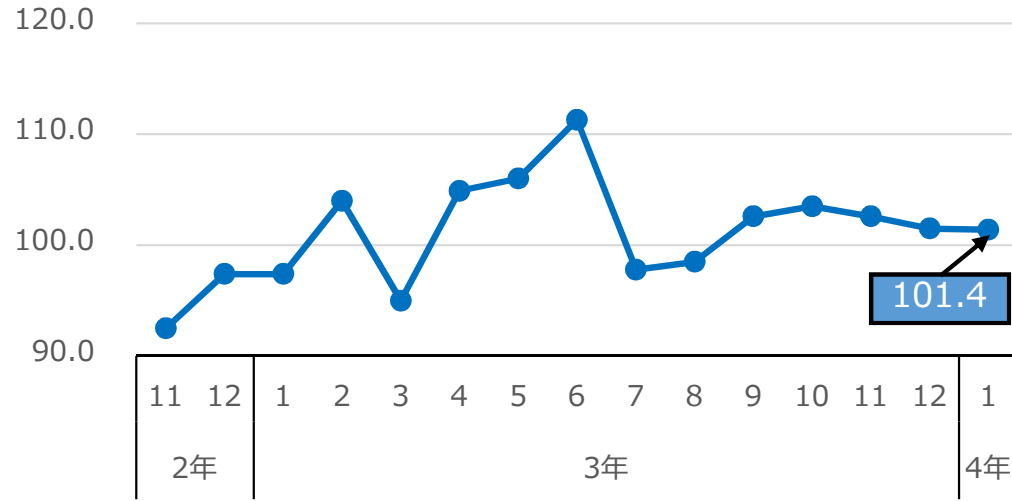
〔電気機械〕



〔汎用・生産用機械〕



〔化学・石油石炭〕



(季節調整済指数、3か月移動平均、平成27年=100)【出所】四国経済産業局の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢

感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある
(2期連続上方修正)

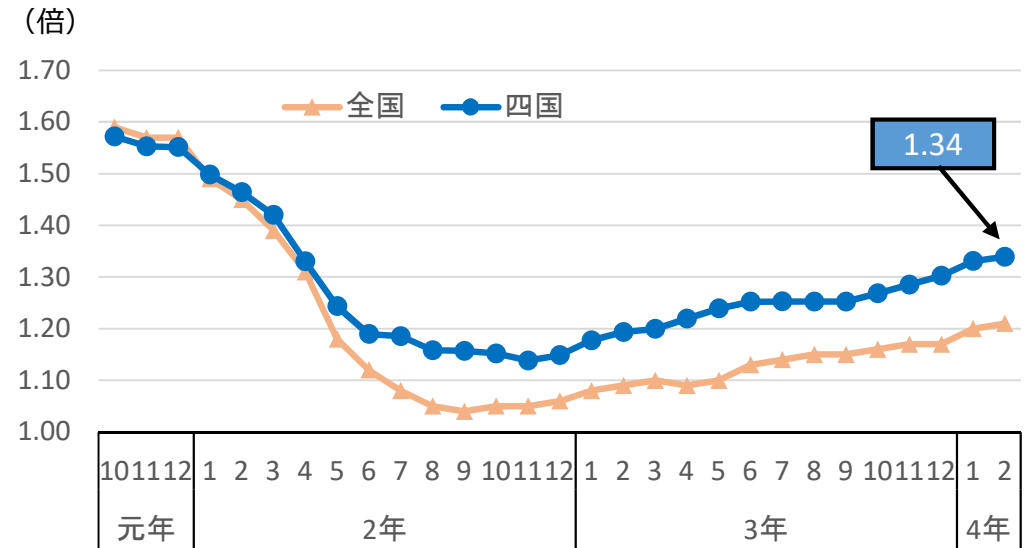
- 有効求人倍率は上昇している。
- 新規求人数は前年を上回っている。

〔主なヒアリング結果〕

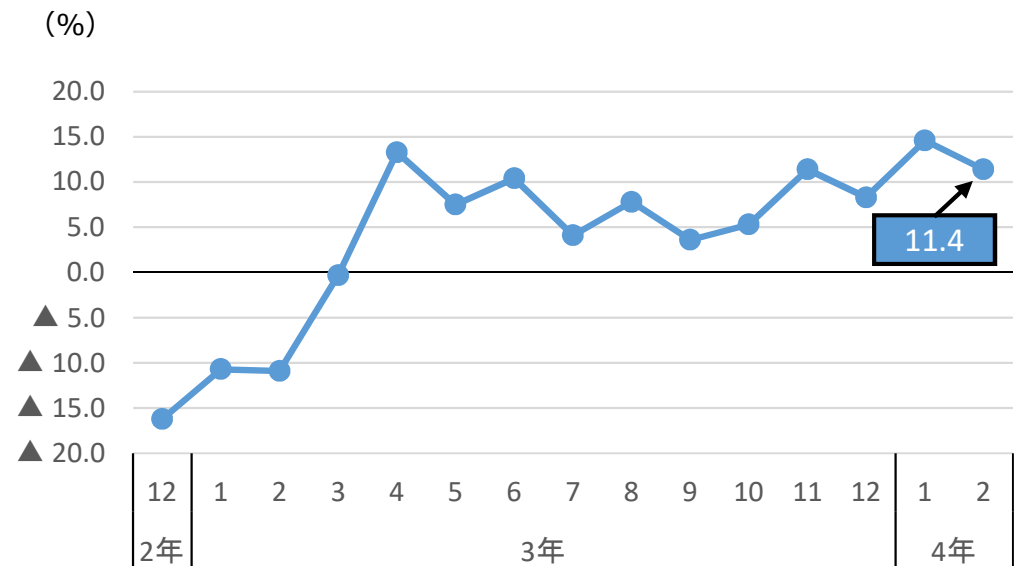
《労働局》

- 巣ごもり需要の高まりなどから食料品製造業で新規求人数が増加しているほか、感染症収束への期待感などから宿泊、飲食サービス業においても新規求人数が増加している。
- 製造業への派遣が増加していることなどから、サービス業で新規求人数が増加している。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



〔四国の新規求人数（原数値、前年同月比）〕



【出所】厚生労働省の公表データから算出

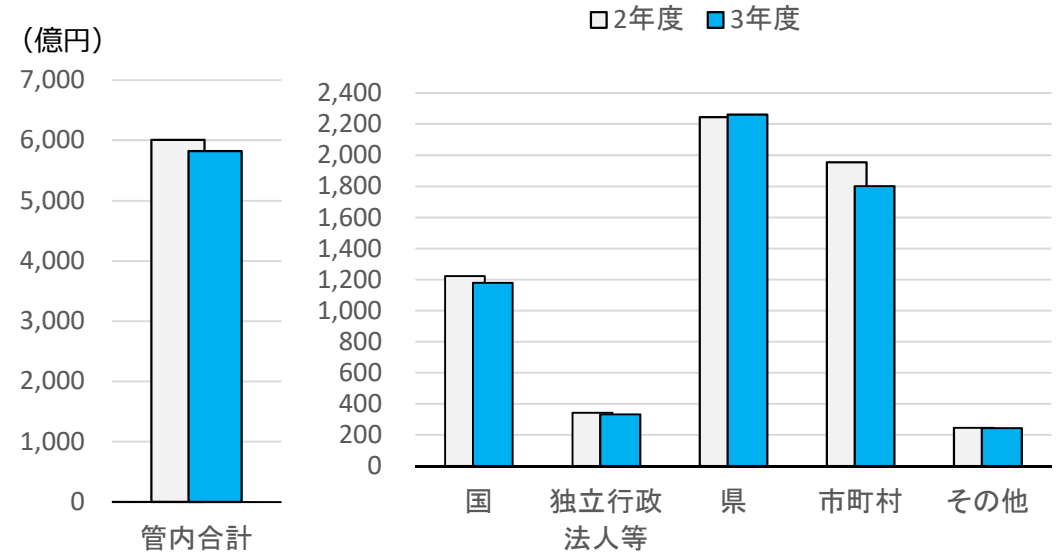
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度を下回っている

- 前払金保証請負金額でみると、管内合計は前年度を下回っている。
- 発注者別にみると、県において前年度並みとなっているものの、国、独立行政法人等、市町村において前年度を下回っている。

〔四国の公共工事前払金保証請負金額（3月累計額）〕



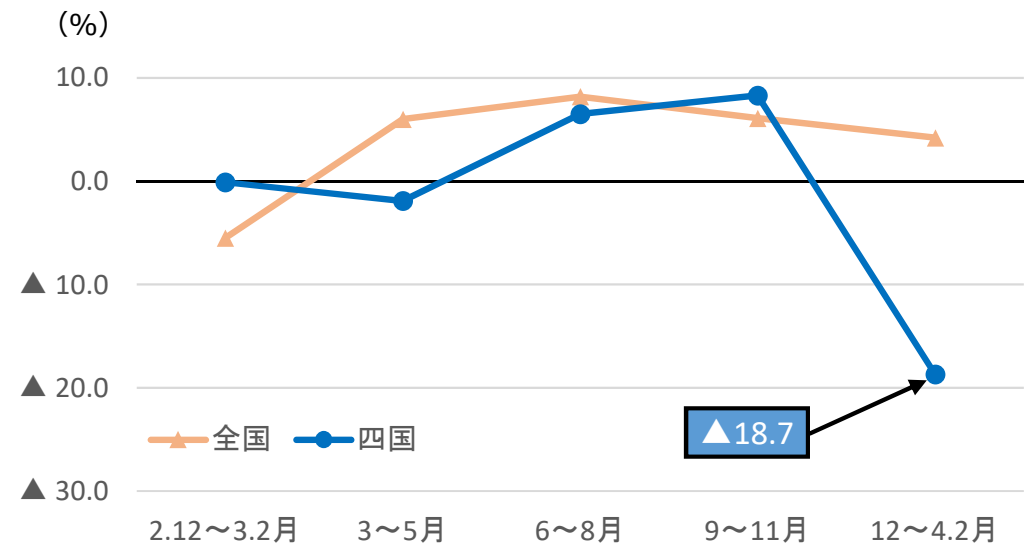
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を下回っている

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、給与住宅及び分譲のいずれにおいても前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

〔新設住宅着工戸数（前年同期比）〕



【出所】国土交通省の公表データから算出

設備投資・企業収益・企業の景況感

設備投資

3年度は前年度を上回る見込み

○3年度の「設備投資」は、非製造業で前年度を下回る見込みとなっているものの、製造業で前年度を上回る見込みとなっており、全体としても前年度を上回る見込みとなっている。

企業収益

3年度は増益見込み

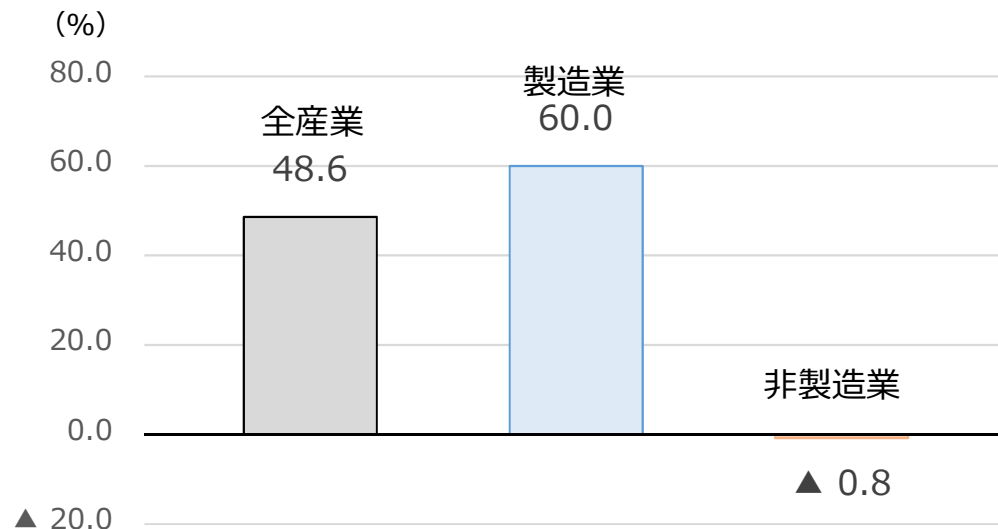
○3年度の「経常利益」は、非製造業で減益見込みとなっているものの、製造業で増益見込みとなっており、全体としても増益見込みとなっている。

企業の景況感

「下降」超

○4年1～3月期は、全産業で「下降」超となっている。

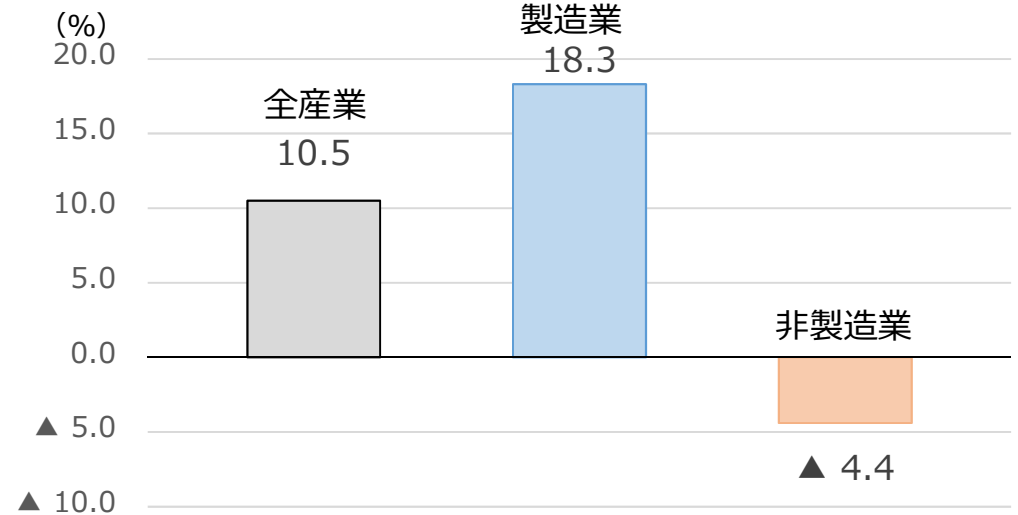
〔経常利益（四国、前年度比）〕



※4年1～3月期調査の結果

※「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除く管内に本社が所在する企業

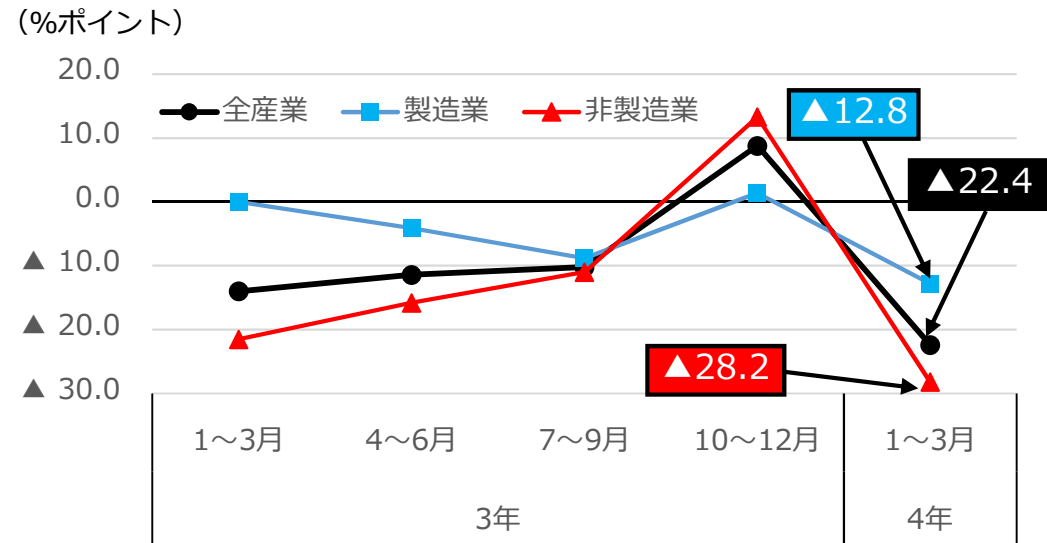
〔設備投資（四国、前年度比）〕



※4年1～3月期調査の結果

※ソフトウェア含む、土地除く

〔企業の景況判断BSI（四国）〕



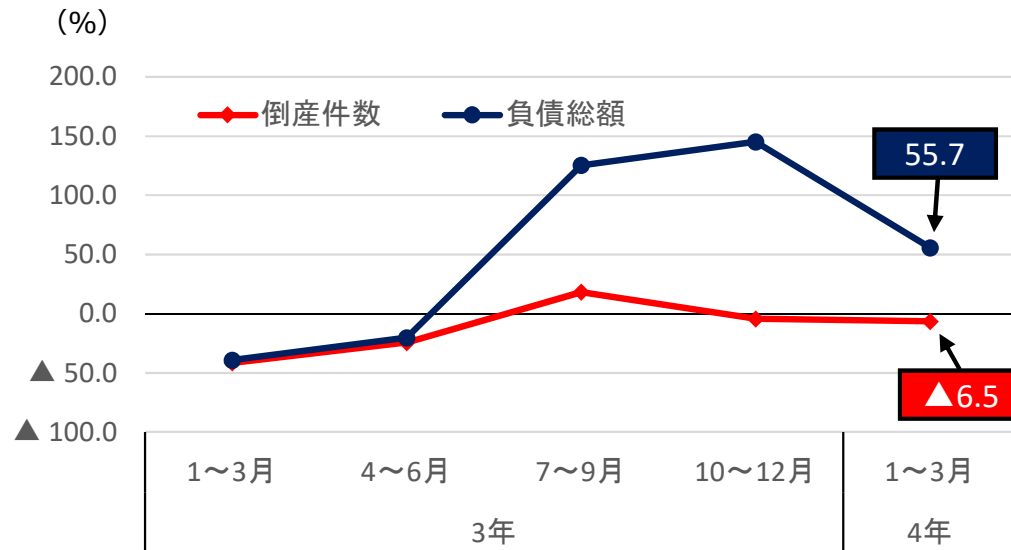
【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）

企業倒産・消費者物価（参考）

企業倒産

件数は前年を下回っているものの、負債総額は前年を上回っている

〔四国の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上、前年同期比）〕

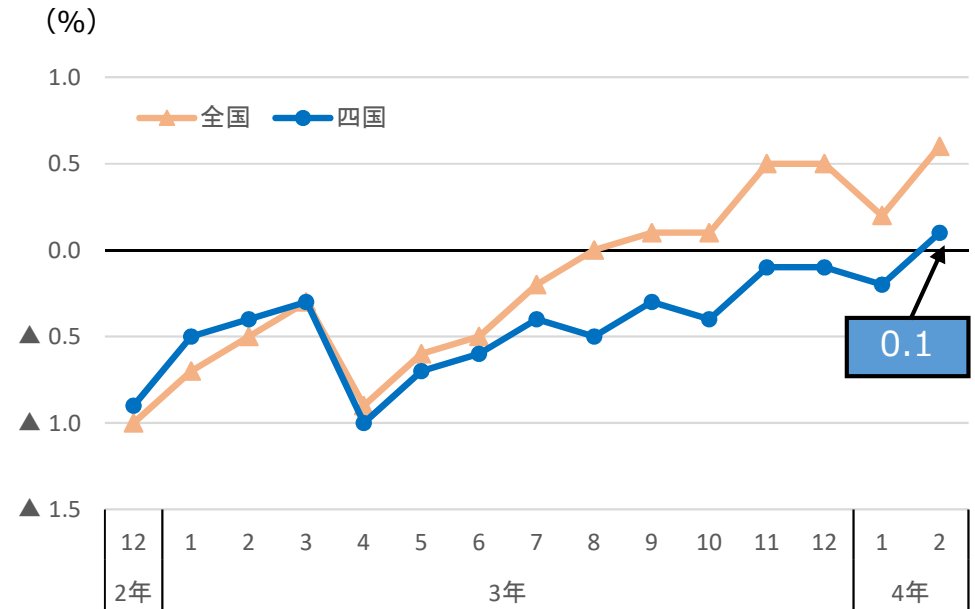


【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

消費者物価

前年を上回っている

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年 = 100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ファックス 087-823-2077

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

